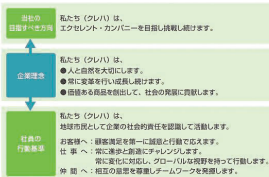


上級編 最優秀賞

株式会社クレハ & クレハグループ 2020年度CSR活動報告

1. 会社紹介

私たちクレハは、独自の製品を数多く創り出してきた技術開発型企業です。
 私たちは、企業理念に基づき、私たちの強みを活かしながら社会に価値を提供することで、持続可能な社会に貢献するとともに、エクスレント・カンパニーを目指します。



沿革

1944年	呉羽化学工業創業
1953年	塩化ビニル樹脂の生産開始
1969年	炭素繊維<クレハ>販売開始
1977年	抗癌性腫瘍剤<クスズン>販売開始
1987年	樹脂製品<フォートロンKPS>発売
1991年	慢性腎不全用剤<クレメジン>発売
1993年	農業用殺菌剤<メトコナゾール> <イコナゾール> 発売 電極用バインダー<KFボーマー>発売
2005年	社名を株式会社クレハに変更
2012年	PGA米国プラント商業運転開始
2015年	ポリオキシエチレン中国プラント商業運転開始

<いわき事業所の紹介>



いわき事業所はクレハの主力生産拠点として、1944年に呉羽化学工業(株)錦工場として生産を開始しました。現在に至るまで、様々な分野にわたる製品を生産し、世界へと供給しています。

111万5千m²の広大な敷地の周囲には、産業廃棄物を処理する株式会社クレハ環境が隣接するなど、環境に配慮した理想的な生産拠点を構築しています。

- 主な生産品目
 - ・ポリフェニレンサルファイド (PPS)
 - ・ポリフッ化ビニリデン (PVDF)
 - ・炭素製品
 - ・マイクロスフェア
 - ・クレメジン
 - ・苛性ソーダ
 - ・クロロベンゼン
 - ・NEWクレラップの原料 など

2. 環境活動報告

- <二酸化炭素排出量削減への取り組み>
- クレハグループのCO₂排出削減目標の策定

2030年度までに段階的に削減を進め、クレハグループのエネルギー起源CO₂排出量を絶対量で2013年度比20%削減の37.6万トンとする。
 (2013年度のクレハグループのエネルギー起源CO₂排出量は47.0万トン)

～目標達成に向けた取り組み～

- ・いわき事業所の石炭火力発電所の稼働抑制
- ・グループ会社における主力電源の再生電力への切り替え
- ・大規模設備・機器の更新時の高効率化
- ・各種省エネ活動の推進

図：事業活動に伴って発生するCO₂排出量の推移 (クレハグループ)



<廃棄物リサイクルへの取り組み>

生産活動にともない事業所から排出される廃棄物の発生抑制や再資源化を推進し、最終処分量の削減に努めています。
 ～事例紹介 石炭灰のリサイクル～
 場内の石炭火力発電所で副産される石炭灰を、セメントなどの原料として再資源化処理業者に委託してリサイクル率向上を図っています。

<「カーボンニュートラルプロジェクト」の設置>

クレハグループの2050年のカーボンニュートラル達成に向けた取り組み、およびゼロエミッションの目標達成に向けた産業廃棄物低減対策の実行を、統括・推進する組織として新設しました。

3. 社会貢献活動報告

<いわき事業所周辺の清掃ボランティア>



地域との交流の一環として毎年春と秋の年2回、いわき市で開催される「いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動」に労使共催で参加しています。
 (2020年度実績)
 参加人数のべ1,477名
 燃えるごみ1,377袋、燃えないごみ70袋

<災害時の物資供給支援>



福島県いわき事業所は、2018年2月に「災害時における物資の調達に関する協定書」を締結しています。

<いわき市の新型コロナウイルス感染症対策への支援>



「第52回市村産業賞*」貢献賞の賞金300万円を、いわき市の新型コロナウイルス感染症対策への支援として寄付することとし、2020年7月29日に小林社長がいわき市長を訪問し贈呈しました。

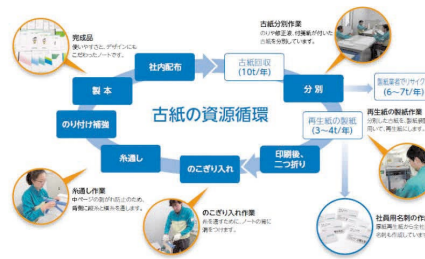
*市村産業賞：リー・三葉グループの創始者である市村清氏により創設された「公益財団法人市村清新技術財団」が、日本の科学技術の進歩、産業の発展に顕著な成果を上げ、産業分野や学術分野の発展に多大な貢献をした個人またはグループを顕彰するもの。

<共生社会の実現を目指して>

共生社会の実現を願い、2014年7月、いわき事業所内に特例子会社*さんしゃいんクレハを設立しました。さんしゃいんクレハでは、身体・知的・精神それぞれの障がいを持つ従業員が、健康者と共に個性を活かしながら協力して業務を遂行しています。

<古紙の資源循環>

クレハでは申請書や報告書の電子化を推進し、紙の使用量削減に貢献しています。そのうえで、排出された古紙は、さんしゃいんクレハで再生し、コピー用紙や名刺、ノートとして再利用することで、事業所内での紙の循環を実現し、限りある資源を有効に活用する循環型社会の形成に貢献しています。



*特例子会社：障害者の雇用の促進等に関する法律に基づき、障がい者の雇用の促進と安定を目的に設立された会社であり、一定の要件を満たす場合に当該子会社で雇用された障がい者の雇用率に算入することが認められています。

<医療での地域貢献>

呉羽総合病院は、いわき市南部の中核病院として地域に密着し、病を看るだけでなく、痛み、症状緩和を含めた質の高い全人的医療の実践に取り組んでいます。また、1983年には院内に「健康管理センター」を開設、2008年に介護老人保健施設「ガーデニア」を病院に隣接して開設しました。



呉羽総合病院



介護老人保健施設「ガーデニア」

<廃棄物の適正処理による地域貢献>

株式会社クレハ環境は、創業以来、廃棄物の適正処理を通して社会環境保全に貢献しています。現在では、廃棄物の処理業のみならず、水や大気等の側面から地球環境の保全に向けた努力を続けております。



創クレハ環境 ウェスタックいわき 8号焼却炉

<その他>

- ・献血活動
- ・いわき支援学校くぼた校への寄付
- ・CSR地域対話集会